2021 年 10 月 15 日
酪農学園大学
キャリアセンター

就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート結果について【概要】

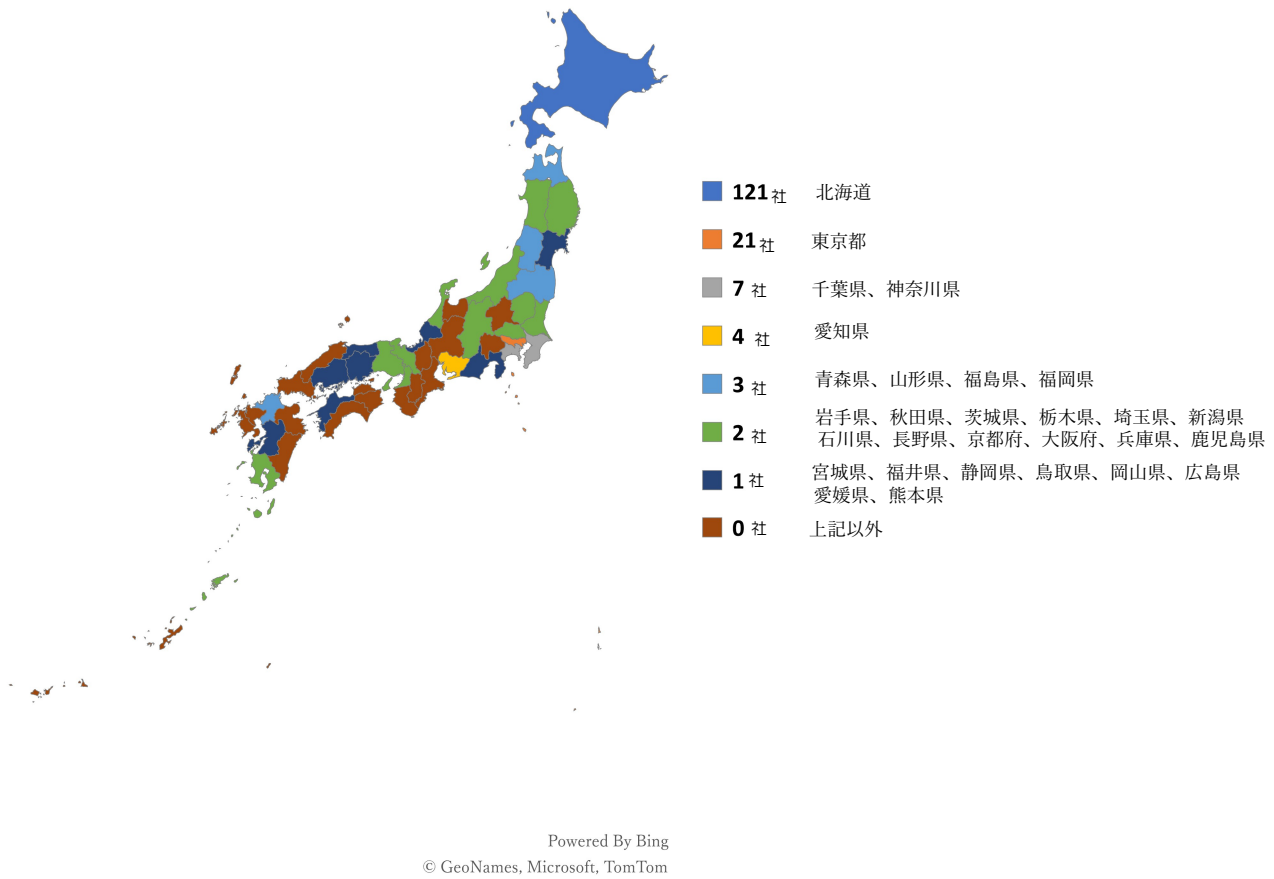
Ⅰ．調査概要

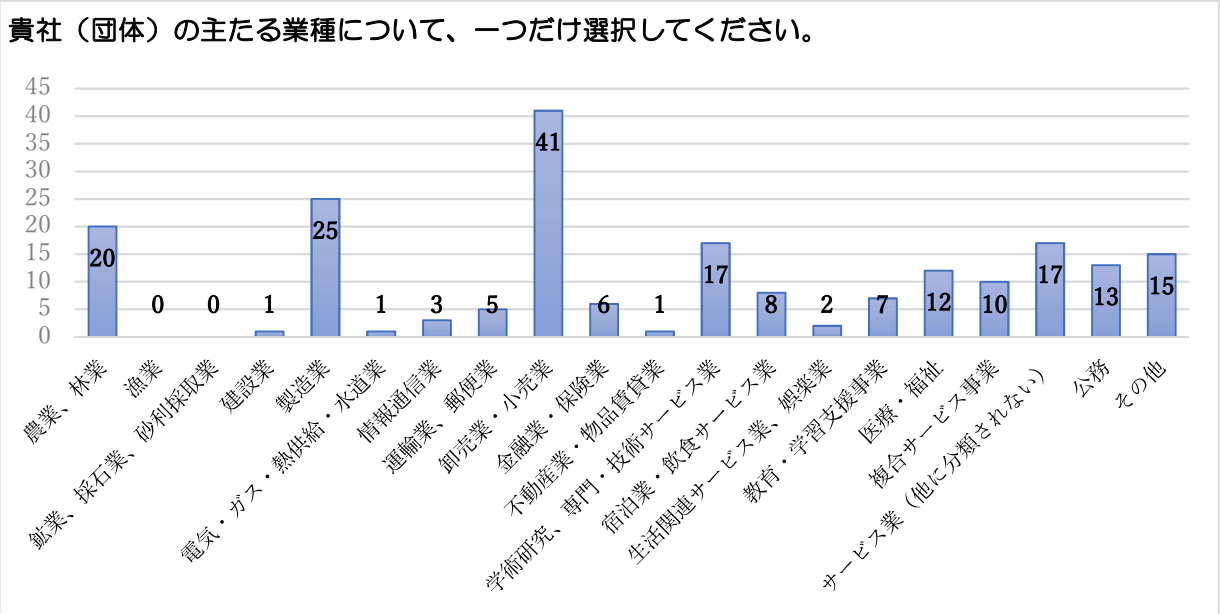
・調査対象者：　2018 年度卒業生を新卒採用いただいた企業・団体　（498 社・団体）
・調 査 方 法：　対象企業・団体に調査依頼文を郵送し、Web 上で回答・集計
・調 査 期 間：　2021 年 9 月 21 日（火）～10 月 4 日（月）【14 日間】
・有効回答数：　204 件　（回答率 41.0%）　郵送先未達数 31 件　（未達数除く回答率 43.7%）

Ⅱ．調査結果

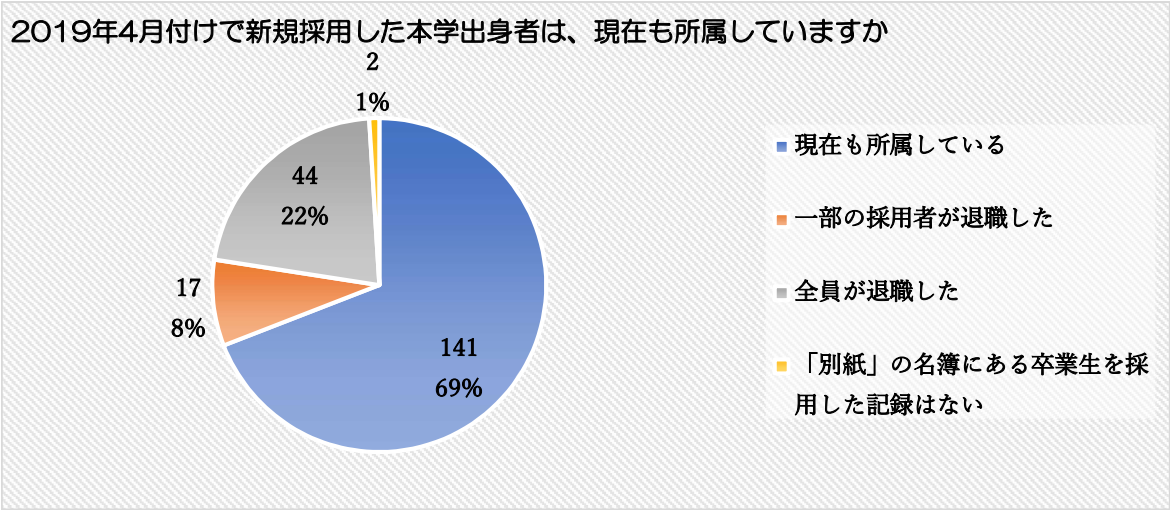
（Ⅱ-1）貴社・団体の基本情報について

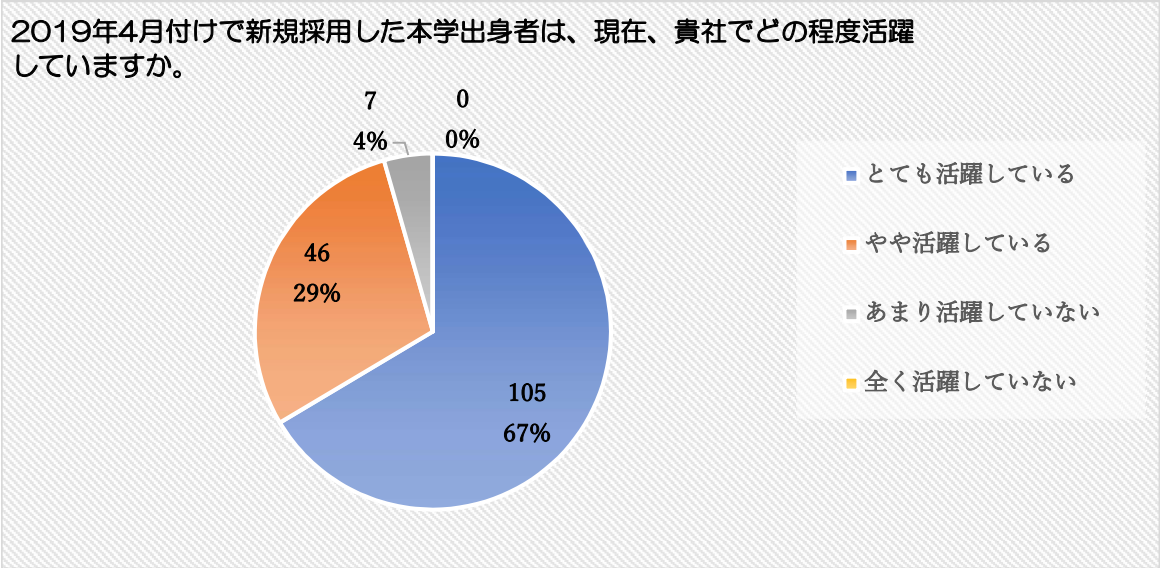
本社（所）の所在地について、都道府県名を教えてください。





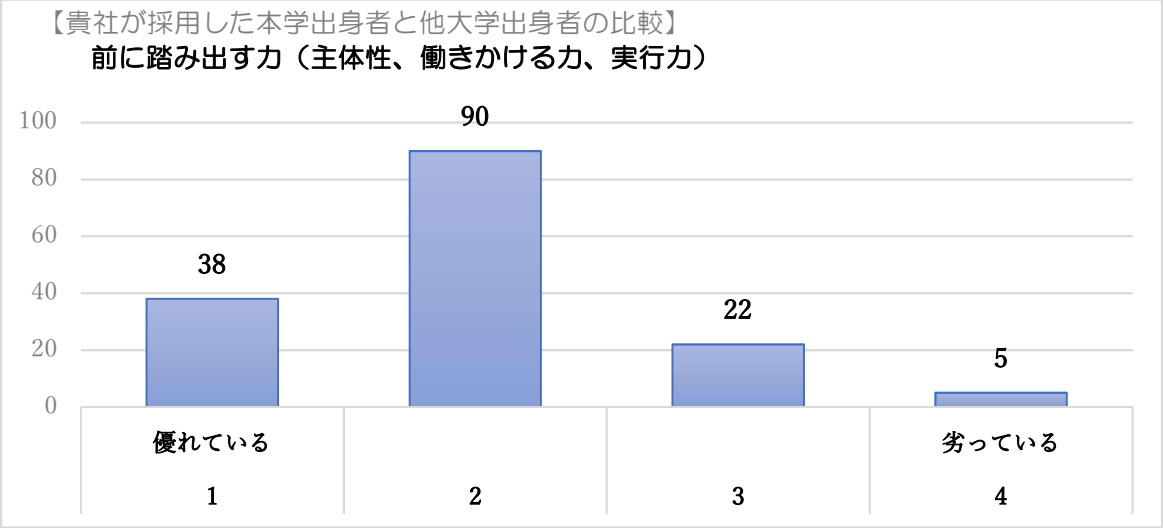
（Ⅱ－２）酪農学園大学出身者について【活躍度】

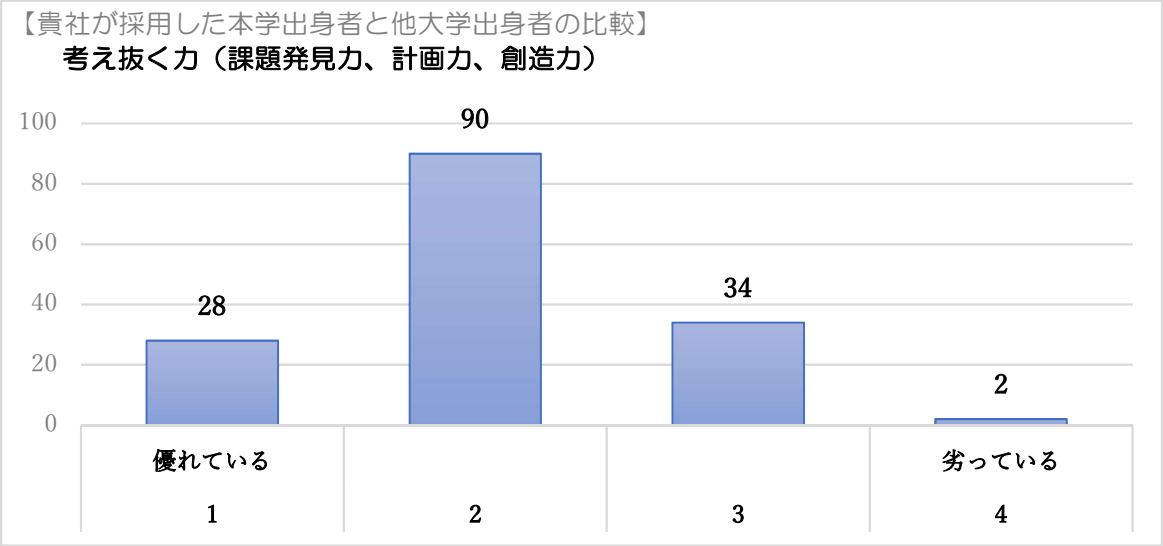


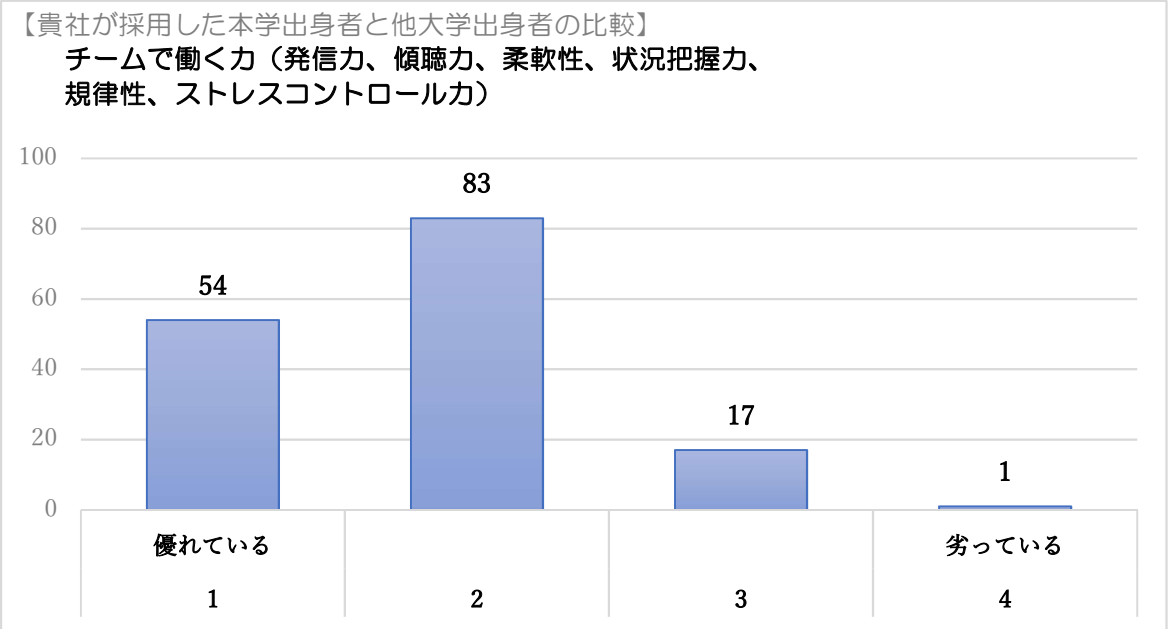


（Ⅱ－３）酪農学園大学出身者について【能力】

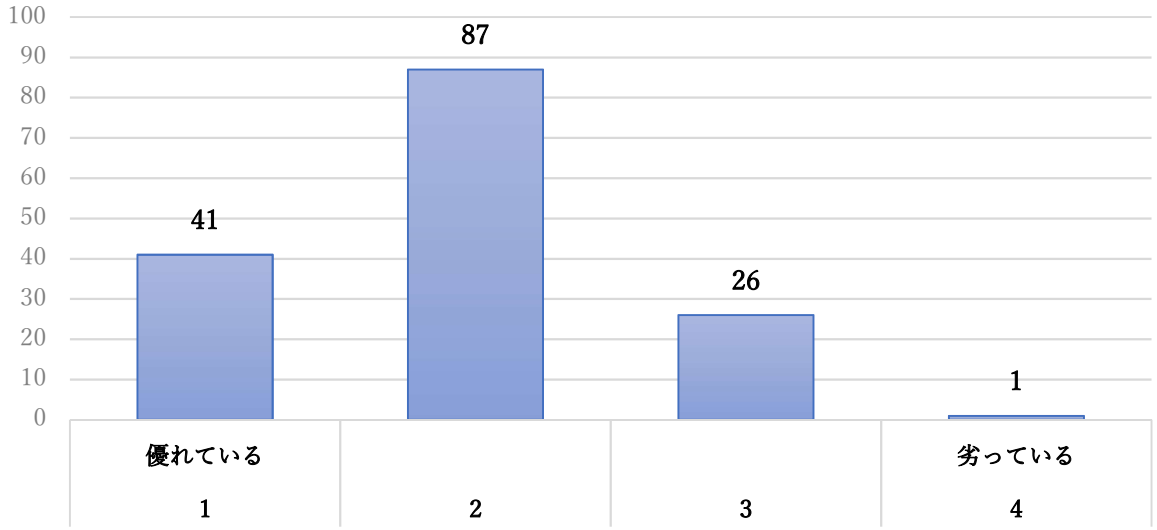
【貴社が採用した本学出身者は、他大学出身者と比較して、どの能力が優れている、または劣っていますか】



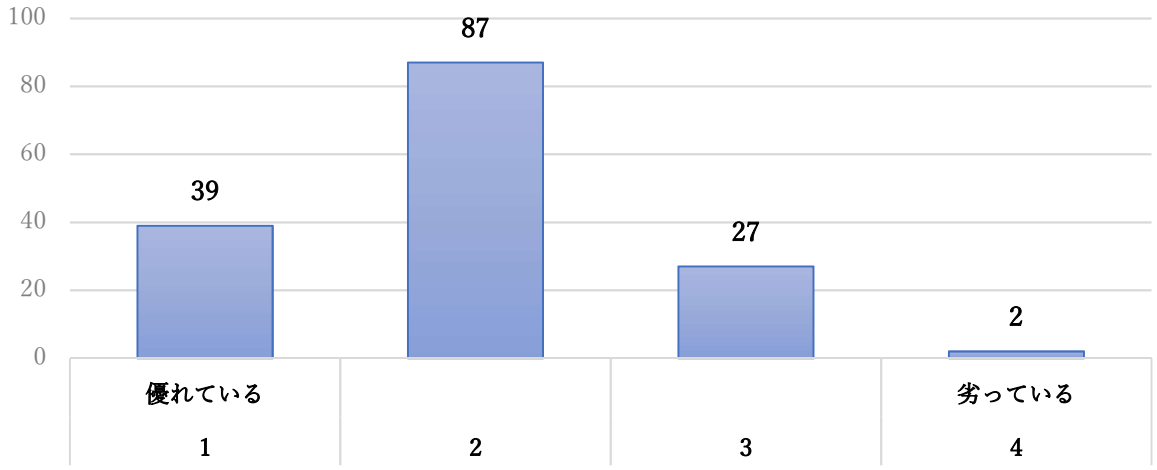




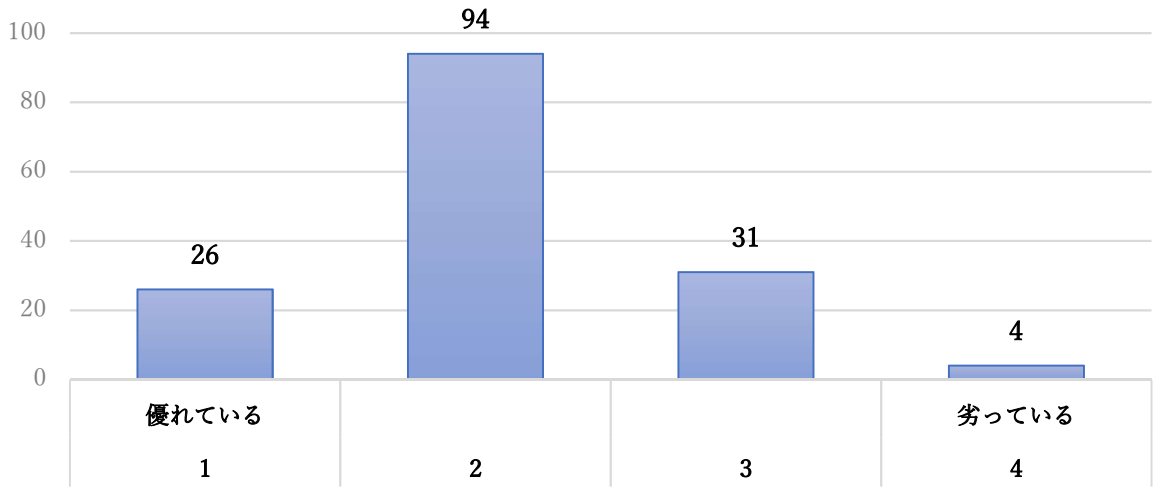
【貴社が採用した本学出身者と他大学出身者の比較】
大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識

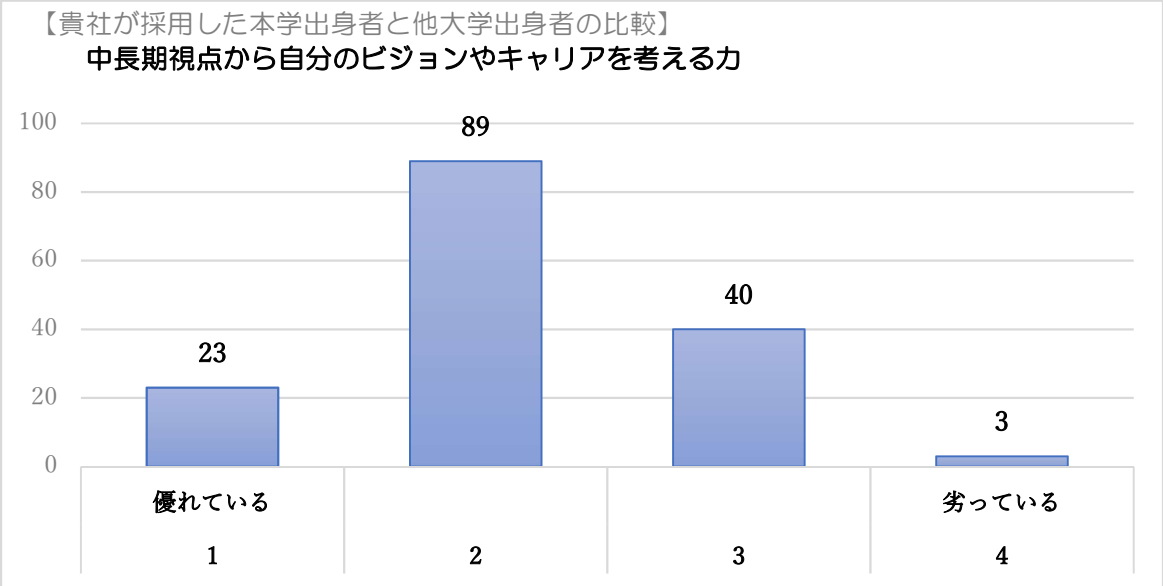


【貴社が採用した本学出身者と他大学出身者の比較】
広い視野で貴社の業務を理解する力

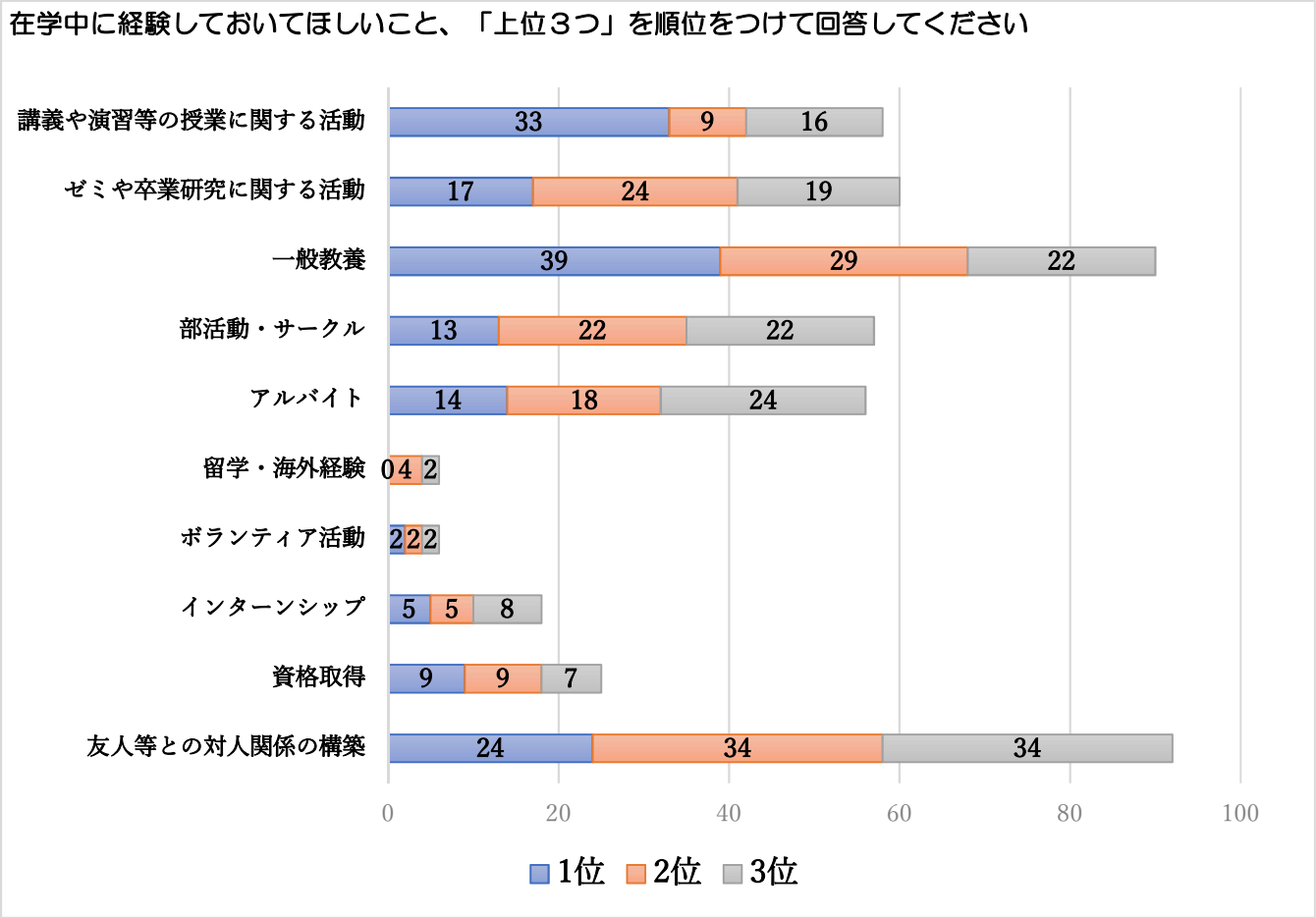


【貴社が採用した本学が他大学出身と比較した能力について】
記録、資料、報告書等を作成する力

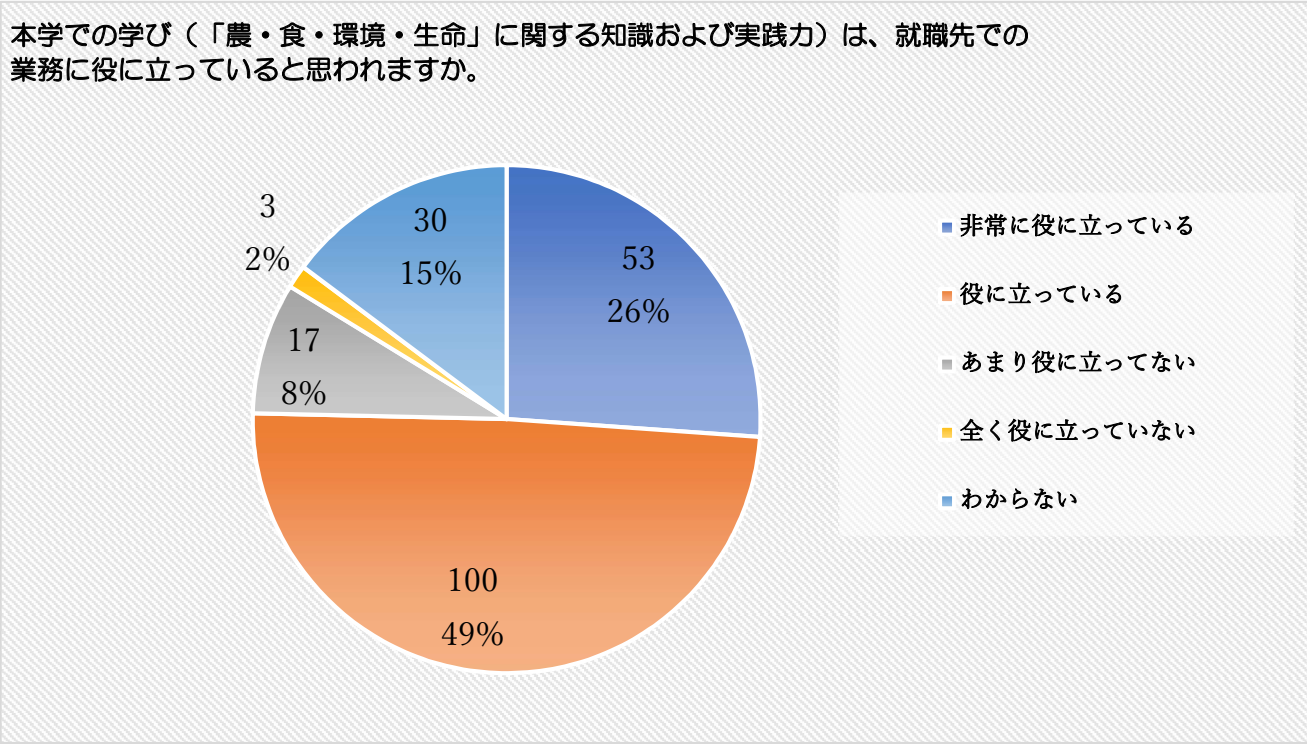




（Ⅱ－４）大学在学中に経験してほしいこと



（Ⅱ－５）酪農学園大学の教育について



２０２１年9月１７日

総務・人事担当部署　御中

酪農学園大学
キャリアセンター長
今井　　敬
（公印省略）

「就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート調査」について（依頼）

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また平素より、本学の学生の採用に関しましてご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本学では建学の精神に基づく教育基本方針（別紙参照）を掲げ、３つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）を策定し有為な人材を輩出すべく教育展開に取り組んでおります。

今後さらに建学の精神に徹した教育を積極的に前進させ、本学の今後の教育改善への参考に資するために、広く関係の皆様方から忌憚のないご意見を賜りたく、主に 2018 年度卒業生を新卒採用された企業･団体の皆様を対象に「就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート調査」を実施することになりました。

つきましてはご多忙の折、恐縮ではございますが、2021 年 10 月 4 日（月）までにご回答いただきたくお願いいたします。

なお、本アンケート調査につきましては、総務・人事担当部署の責任者様宛に郵送しておりますが、もし、ご担当が異なる場合には、お手数とは存じますが、適切な担当部署へご回付いただけますようお願いいたします。ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

【対象企業】2018 年度卒業生を新卒採用いただいた企業・団体の皆様

【回答方法】以下の URL にアクセスの上、ご回答いただきますようお願いいたします。

※スマートフォンでも回答が可能です。(アンケート所要時間　約８分【最大 全 19 問】)

<URL>　https://forms.gle/KUSGkUW4mLvAMysv9

【回答期日】２０２１年１０月４日（月）

お送りいただいた回答内容は統計的に処理いたしますので、個別の回答結果を外部に公開することはありません。　回答に迷う場合は、最も近いものを選んで回答してください。

◇問い合わせ先
〒069-8501　北海道江別市文京台緑町 582 番地
酪農学園大学　キャリアセンター　（担当：立川／廣田）
TEL：011-388-4135　FAX：011-388-4136
メールアドレス：rg-career@rakuno.ac.jp

【別紙】

酪農学園大学の建学の精神に基づく教育基本方針

建学の精神である「三愛主義」は、キリスト教の教えのもとに「神を愛し、人を愛し、土を愛する」ことに徹した人間教育主義であり、多様な隣人への寛容な精神と、人類存続の礎である大地を尊ぶ精神の涵養を説く。その目的は建学の精神を受け継ぎ、「健土健民」の教えを実践し、「生命を紡ぐ大学」として大地が生み出す命を未来へと繋ぎ、全人類の福祉向上に貢献する担い手の養成である。

建学の精神にもとづく教育は 80 年の歴史を有し、農業振興に大きく貢献してきた。これを受け継ぐ新しい教育は、「農・食・環境・生命」を基軸に自然との調和の取れた循環農業の維持・発展を図り、人と動物の生命の存続と福祉に貢献し、かつ世界的活動に参加する人材を育てることである。主体的に世界の変化に対応し、課題を見極め、課題解決に対し幅広く、柔軟かつ総合的な判断力を持った担い手を育てる。すなわち農業にかかわる複合的問題を解決する能力を持ち、多角度から物事を観察する能力や総合的思考力、的確な判断力、かつ豊かな人間性を持った人材を輩出することである。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

酪農学園大学の学士課程教育は質の高い教養を持った専門家を養成する。初年次の酪農学園教育において、「農・食・環境・生命」の有機的結びつきを理解した学生は分野を超えて問題探求の基本的姿勢が身につく。学群・学類の専門教育では体系的にかつ学際的に学び、知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力を統合する力を身につけた学生が生まれる。学位記は、その能力と実践力を有することを証明する。さらに、学生は各学群・学類において多様な資格あるいはその受験資格を取得でき，これらの資格と併せて、視野の広い専門家として多様な課題を発見、分析、解決する能力を身につけた人材となる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

学士課程教育は 2 学群・5 学類の教育組織からなる。この学群・学類制は教育を受ける学生のための組織であり、農業を総合科学として学ぶための横断的教育を含む教育体制である。初年次の酪農学園教育は、新入生全員がキリストの教えと建学の精神を学ぶと共に、農場実習を通して「家畜に触れ、作物を知り、土の役割を理解する」共通認識を修得する。いわば酪農学園大学独自の教養教育である。学生は、この酪農学園教養教育を修得するところから始まり、専門基礎教育を経て専門教育課程へと進む。専門教育においては各学群の教育方針に基づき、卒業と同時に広い視野を持ち、優れた実践力を持つ専門家を養成するカリキュラムがそれぞれに設定されている。

アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

建学の精神「三愛主義」を理解し、「健土健民」の教えを実践するために積極的に行動する強い開拓者精神を持った人物を求める。農業は食を保証し、環境との調和を必然とし、健康な生命を育むまさに母なる大地と同義である。農業は総合科学であり、理論と実践を融合し、「命を紡ぐ健土健民」社会の実現を志す意志の強い人物を求める。どの専門分野においても、「農・食・環境・生命」の有機的結びつきを理解できる担い手は、自己教育能力を持ち高度の専門性を持った質の高い教養人として社会貢献をなしえる。

【採用企業様　アンケート調査】　酪農学園大学　教育の成果に関するアンケート調査（〆10/4（月））

・所要時間は８分程度です
・主に、２０１９年４月付けで本学学生を新卒採用いただいた企業・団体の皆様を対象にしております。（新卒で入社して約２年６か月～３年が経過した状況についてお伺いいたします。）
・２０１９年度に本学から複数名を新卒採用された場合は、平均した回答としてください。（アンケート回答は１社につき１回としてください。）
・回答に迷う場合は、最も近いものを選択してください。
・お送りいただいた回答は統計的に処理しますので、個別の回答結果を外部に公開することはありません。

◇ご不明な点がある場合は以下までお問合せ下さい。

〒069-8501　北海道江別市文京台緑町582番地
酪農学園大学　キャリアセンター　TEL：011-388-4135　FAX：011-388-4136
メールアドレス：rg-career@rakuno.ac.jp（担当：立川／廣田）

*必須

貴社の基本情報について教えてください。

1。 貴社名を教えてください【（記載例）株式会社〇〇食品　　公務員の場合・・・　〇〇県　　教員の場合・・・〇〇県教育委員会　等】 *

2。 本社（所）の所在地について、都道府県名をご記入願います。

1 つだけマークしてください。

- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 山梨県
- 長野県
- 岐阜県

- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県
- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県

- 鹿児島県
- 沖縄県
- 海外

3。 貴社（団体）の主たる業種について、該当する番号に一つだけ選択してください。 *

1 つだけマークしてください。

- 農業、林業　質問 5 にスキップします
- 漁業　質問 1 にスキップします質問 1 にスキップします
- 鉱業、採石業、砂利採取業　質問 5 にスキップします
- 建設業　質問 5 にスキップします
- 製造業　質問 5 にスキップします
- 電気・ガス・熱供給・水道業　質問 5 にスキップします
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業　質問 5 にスキップします
- 卸売業・小売業　質問 5 にスキップします
- 金融業・保険業　質問 5 にスキップします
- 不動産業・物品賃貸業　質問 5 にスキップします
- 学術研究、専門・技術サービス業　質問 5 にスキップします
- 宿泊業・飲食サービス業　質問 5 にスキップします
- 生活関連サービス業、娯楽業　質問 5 にスキップします
- 教育・学習支援事業　質問 5 にスキップします
- 医療・福祉　質問 5 にスキップします
- 複合サービス事業　質問 5 にスキップします
- サービス業（他に分類されない）　質問 5 にスキップします
- 公務　質問 5 にスキップします
- その他

4。 「その他」の場合、以下に記載ください。（最大150字以内）

酪農学園大学出身者について（所属状況）

・酪農学園大学出身者は、2018年10月から2019年4月の新卒入社としてください。
・複数名を採用いただいた場合、現在、１名でも所属している場合は、「現在も所属している」を選択してください。

5。 別紙リストに掲載された本学出身者は、現在も所属していますか *

1 つだけマークしてください。

- 現在も所属している
- 一部の採用者が退職した
- 全員が退職した　質問 17 にスキップします
- 「別紙」の名簿にある卒業生を採用した記録はない　質問 17 にスキップします

酪農学園大学出身者について（活躍度）

6。 別紙リストに掲載された本学出身者は、現在、貴社でどの程度活躍していますか。あてはまるものを選択して下さい。 *

1 つだけマークしてください。

- とても活躍している
- やや活躍している
- あまり活躍していない
- 全く活躍していない

酪農学園大学出身者について（能力）

貴社（団体）が採用した本学出身者は、他大学出身者と比較して、どの能力が優れている、または劣っていますか。

7。 前に踏み出す力（主体性、働きかける力、実行力）

1 つだけマークしてください。

	1	2	3	4	
優れている					劣っている

8。 考え抜く力（課題発見力、計画力、創造力）

1 つだけマークしてください。

	1	2	3	4	
優れている					劣っている

9。 チームで働く力（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）

1 つだけマークしてください。

	1	2	3	4	
優れている					劣っている

10。 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識

1 つだけマークしてください。

	1	2	3	4	
優れている					劣っている

11。 広い視野で貴社の業務を理解する力

1 つだけマークしてください。

	1	2	3	4	
優れている	◯	◯	◯	◯	劣っている

12。 記録、資料、報告書等を作成する力

1 つだけマークしてください。

	1	2	3	4	
優れている	◯	◯	◯	◯	劣っている

13。 中長期視点から自分のビジョンやキャリアを考える力

1 つだけマークしてください。

	1	2	3	4	
優れている	◯	◯	◯	◯	劣っている

大学在学中に経験しておいてほしいこと（上位３つを選択）

「在学中にしっかりと経験しておいて欲しいこと」について上位３つを下記の中から選択してください。

14。 【１位】在学中に経験しておいてほしいこと

1 つだけマークしてください。

- ◯ 講義や演習等の授業に関する活動
- ◯ ゼミや卒業研究に関する活動
- ◯ 一般教養
- ◯ 部活動・サークル
- ◯ アルバイト
- ◯ 留学・海外経験
- ◯ ボランティア活動
- ◯ インターンシップ
- ◯ 資格取得
- ◯ 友人等との対人関係の構築

15。 【２位】在学中に経験しておいてほしいこと

1 つだけマークしてください。

- 講義や演習等の授業に関する活動
- ゼミや卒業研究に関する活動
- 一般教養
- 部活動・サークル
- アルバイト
- 留学・海外経験
- ボランティア活動
- インターンシップ
- 資格取得
- 友人等との対人関係の構築

16。 【３位】在学中に経験しておいてほしいこと

1 つだけマークしてください。

- 講義や演習等の授業に関する活動
- ゼミや卒業研究に関する活動
- 一般教養
- 部活動・サークル
- アルバイト
- 留学・海外経験
- ボランティア活動
- インターンシップ
- 資格取得
- 友人等との対人関係の構築

酪農学園大学の教育について

本学では、農業振興に大きく貢献する人材を輩出するため、「農・食・環境・生命」に関する知識および実践力を身につけるための教育が体系的に行われています。

17。 本学での学び（「農・食・環境・生命」に関する知識および実践力）は、就職先での業務に役に立っていると思われますか。

1 つだけマークしてください。

- 非常に役に立っている
- 役に立っている
- あまり役に立ってない
- 全く役に立っていない
- わからない

最後の質問です

18。 本学は「農・食・環境・生命」を基軸に、これから変動する社会環境情勢の中で、農業とその関連産業に関わる複合的問題を、多角度から観察して、解決する能力を持ち、豊かな人間性を持った人材を輩出することを教育方針としています。　そのため、建学の精神に基づく教育基本方針（３つのポリシー）を設定しています（同封書類参照）。教育方針について、業界に必要な人材像と隔たりがありましたら、遠慮なくご記載ください。　（最大300字以内）

19。 その他、酪農学園大学の教育に望むことがあれば、教えてください。（最大300字以内）

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム